

会議開催記録

会議名	第6回 菊川市総合計画審議会
日時	平成27年12月25日(金) 13:30～
場所	菊川市役所 2階 201、202 会議室
出席者	審議会委員9名、事務局4名
議事	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 第2次菊川市総合計画基本構想(案)【資料1】 (2) 第2次菊川市総合計画 政策大綱(案)【資料2】 4 閉会
議事要旨	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互礼 ・15名委員のうち、9名出席。過半数の出席により会議成立の確認。 ・議場配布資料および事前配布資料、資料1、資料2の確認 <p>2 会長あいさつ</p> <p>会長：こんにちは。暖冬で、高齢者に近い者にとっては優しいのですが、産業や家計には厳しくなるかもしれません。総合計画審議会も地方創生の戦略づくりに力をいれてきましたが、本業の総合計画の中身を詰めていく作業になります。将来像が「みらい ときめき たしかな未来 菊川市」となっており、「ときめき」は、わくわくするような中身にしたいと思っています。これは難しく、あれは不整脈だったと言われないうちに中身を詰めていきたいです。焼津市や島田市でプロジェクトに関わっていますが、そのプロジェクトは派手に見えますが、菊川市に派手さは無くても充実した事業にしていきたいと思っています。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 第2次菊川市総合計画基本構想(案)について</p> <p>事務局：資料説明。</p> <p>会長：本日は、基本構想案のなかの第2編を除く部分が議事の1になります。赤字で従来からの修正がありますので、そのような点や改めて見直して聞きたい点やこうすべきといった点についてお願いします。</p> <p>委員：策定の背景について、時代背景、潮流について、きちんと認識した上での計画だと思っています。統計資料で、世帯数や人口が減少となっていますが、意外と減少しているのは外国人などもあり、良いです。産業については、商業年間販売額が5200億円は単位が違うと思います。520億円だと思っています。14ページの工業の増減の図は21年からの比較にしたのは意味がありますか。35ページの将来都市構造のところ、区分とゾーニングがあ</p>

りましたが、前回は概念図が稚拙でしたが、今回は、「調整中」となっているので、もっとわかりやすいものになることを期待しています。ゾーンは、親水ゾーンとかゾーンはこれでいいのか気になります。里山などはどうしますか。概念図とリンクしていないところもあるので、いまの図は細かすぎてよくわかりません。

事務局：工業の状況を平成 21 年からにしたのは、いろいろな統計をできる限り同じ年からにしたかったのであわせました。国勢調査などは遡りますが、他のものはできるかぎり 21 年からにあわせました。

会 長：年間販売額の単位は千円ということでもいいですか。工業の図は 21 年からだとリーマンショック後からなので、伸びているように見えます。

副会長：これくらいの単位であれば、百万単位で文章はそろえたほうがいいです。

事務局：ご指摘の工業の数字は、平成 21 年は数値が落ち込んだときなので、ここのスタートが適正かどうかは疑問があるので、データの適正ということで少し前からのせることも検討します。

会 長：ゾーニングのところは差し替え版でかわっているのでしょうか。里山ゾーンとか親水ゾーンとかでできますか。

事務局：事前配布は、簡単な図でしたが、今回の図は、都市マスタープランをベースに調整中のものとなっています。以前のものは、里山ゾーンなどが入っているものです。

会 長：36 ページのものが原案ということでもいいですか。他に質問はありますか。

副会長：菊川市の概況と特徴について、人口推移が長期と短期に分かれおり、22 年の人口が違います。住民基本台帳と国勢調査とベースが違うからなのはわかりますが、一般の人からみると疑問に思います。それから、年齢別人口の状況で、22 年の合計人数がどこにも該当しない数値がでてくるので、先ほどのページと整合性がつきません。

茶業の状況が削除されましたが、これは何を意図して削ったのですか。基幹産業と言われる茶生産の状況を載せないのはなぜですか。載せるとしても、25 年までの数値は載せるべきで、前回の数値を出すようでは、資料として陳腐です。17 ページのその他の財政状況で、グラフが■と○だけの表示なので、もうすこしわかりやすい凡例にして下さい。第 4 章のまちづくりの課題 1、農地の集約化やブランド化とありますがお茶は高収益の作物なのですか。最近、勘定があわない作物となっているので、表現を変え、高付加価値作物と、いうほうがいいです。

42 ページで、行政経営の観点からの市政運営の推進で、行政経営が最初にあります。行政経営ではなく行政運営ではないですか。民間の考え方を取り入れることによって、

市民に信頼される行政運営ではないですか。行政経営は、行政運営のなかに経営感覚をいれるとなっているはずですが。ここでは表題にあるように、市政運営に経営をいれるので、行政運営の方がいいと思います。

事務局：字句、数字等については、再度精査して修正します。

お茶関係のデータについて、平成 21 年までのデータとなっていました。統計調査が 21 年度までしかなく、それ以降は、データがありません。あまり古いデータをのせるのはよくないと判断し、全体的に把握できるものとして経営耕地面積にしました。お茶関係のデータは、国等にも確認しても数値を把握していないので、耕地面積にしました。

最後に副会長よりあった基本構想の推進で行政経営については、現在、菊川市でも、検討しているところです。行財政推進懇話会で、この文章を確認するなかで、修正をしていきたいと考えており、文章はかわるかもしれませんが、懇話会からの意見を反映させたものにします。

会 長：28 ページのお茶の高収益の作物との表現は、どういう風にしますか。

委 員：高収益だった作物ですか。

事務局：お茶等と書きたかったので、お茶をはずした表現にします。

会 長：高収益の作物というと何がありますか。

事務局：ここについては、国も来年から新しい補助制度を創設する話もあり、特に国が打ち出しているお茶は供給過多となっており、他の作物に転換してはということがあります。戦略でも菊川はのせています。高齢化するなど、中山間地域でできなくなっているところとか、耕作放棄地を防ぐ意味でも、複合経営を進めるためにもこれを載せています。お茶をはずすかどうかは議論があり、国はお茶から転換する政策をだしています。一定の集団で計画をつくるなどの条件がありますが、農林課で検討していて、国の補助を使う形と市の独自の補助がありますが、いま検討しているところです。それをどう表現するかはありますが、高収益作物との複合推進としています。基幹作業であるお茶を転換するのは、イメージがどうかと思いますが、国が言っているのでそうしています。

委 員：今の文章では、このような現状があって、ブランド化や高収益との作物との複合化を進めるとありますが、悪い状況を改善するために、ブランド化などがあるので、お茶ははいってきません。しかし菊川の課題としてお茶は避けて通れず、抜くわけにいきません。茶業経営に対して、その他の作物を導入してお茶と複合経営となるとお茶のことを考えていると思います。そのような文章にしないと課題に対して方向がでないと思います。

事務局：菊川にとってお茶は基幹産業だと思っています。次の議論にもありますが、目標 3 で、

活力と魅力ある茶のまちづくりを掲げており、すべてのお茶を転換することはしませんが、一部はニーズがあるので、その表現の仕方について内部で検討します。

事務局：高収益作物について、現時点で国がやっているものはありません。

会 長：意見、質問はありますか。

事務局：10 ページで、長期が国勢調査、短期が住基で、集計の人口が違います。一般の方にわからないという指摘はそのとおりですが、国勢調査だけのせると直近の5年の動きがわからず、短期だけの人口にすると、他で国勢調査を利用しているところもあり、そことの整合をどうするのかといった問題があります。3区分の数値は確認します。

会 長：注釈でコメントを入れるのも1つの手です。国勢調査がより正確だと思うので、下の表で差があることを認識するような注意書きをいれてもいいです。他にはありますか。

委 員：まちづくり課題で、菊川の課題を整理していますが、課題1、2は菊川の特長だが、それ以外は一般的です。この辺は市民意向調査とSWOT分析を踏まえて、菊川が取り組むべき課題を具体的にあげたほうが良いです。菊川文化の醸成とありますが、アンケートでもそれほど高いポイントではありません。菊川文化とはどのようなイメージですか。

事務局：まちづくりの課題として、SWOT分析を行い、整理した文章を初めてだしました。今までにあげた7つの課題であり、もう一度見直すと、これまで進めてきたものが変わることも想定されます。文章もアンケートなどを参考に、菊川らしさを出すようにしていきます。

委 員：項目を変えるということではなく、具体的に列記したほうが良いということです。

事務局：菊川らしさをあげていきます。課題5の多様な菊川文化の醸成については、スポーツ活動などをあげています。これも、意識調査結果をみながら、菊川らしさをいれていきたいと考えています。

委 員：その際に、5、6がわかりにくいです。もう少し具体的に書けばわかると思いますが、今の書き方だとわかりにくいので検討をお願いします。

事務局：5、6の違いがわかるようにします。

会 長：29 ページ最後の3つが抽象的でさらっとしているので、具体的に現状認識をいれ、菊川には個性が無いという指摘もあるので、最初にそれを認めてもいいと思います。それも含めて見直しをお願いします。

次の基本構想に入る前に全体のイメージとか概ねの現状認識、方向性について、意見、感想でもいいので聞きたいです。私の印象は、時代背景は従来よりもしっかり書いてあると思います。ここ1、2年のことが中心となっていますが、わかりやすくなっていると思います。概況と特徴についても、それぞれのデータの整合性も委員から指摘があり、それらが修正されれば見やすくなると思います。

SWOT分析について成長戦略、回避戦略など方向性はありますが、強み、弱み、脅威、機会について書いていないので、入れ込むかどうかコメントを下さい。現状認識として入れてもいいと思います。将来像について、菊川の駅北の解説をお願いします。将来の発展のポテンシャルがあると思うので、説明するなり資料をいれるなりして下さい。

事務局：SWOT分析は、項目も多かったので、戦略的に強みをもって活かす方向とかに変えました。表現方法を再検討して、強み、弱みを出した方がいいかと思うので、掲載方法を考えます。

事務局：駅北については、36ページに駅北検討エリアと書いていますが、わかりにくいので表現を検討します。菊川駅の状況として、近隣の東海道線の駅で駅口が南北両方に無いのは3駅だけで、片方が崖など地形の問題がないのは、ここだけです。旭テックが動いて開発が活発であり、民間の乱開発も懸念されるので、課題認識として取り上げていきます。文章として書いていきます。

委員：まちづくりの課題3で、家族構成や世帯構成が変わると住宅もかわります。菊川で青葉台を作って販売し、平尾団地を作って販売しました。青葉台は売れましたが、平尾団地はバブル崩壊のときで、時代背景として、2世帯住宅があり、それまで60、70坪であったのを大きくした。そうしたら、売れなくなりました。その時に、2世帯住宅の需要があるのかどうか疑問に思いました。自分も菊川に住んでいて、娘と一緒に暮らすより、スープが冷めない距離というのもいいのではないかと思います。それで、若者をここに居つかせる住宅施策があるといいです。課題4で、少子高齢化とありますが、それを国なり県なりの制度を頼りにしていいかというところと自己財源を作る努力をしないとダメだと思います。その際に、自助、共助、公助で、余裕のある方から寄付を集めて、基金づくりをするなり、財政基盤を強化するなどしてもいいです。高齢化を受け、これから高齢者が主役となって、あらゆる場所に高齢者の場所を作るという施策があると、高齢者をうまく活用しながらやるのが必要なので、高齢者を弱者ではなく、主役とする文章があってもいいと思います。

都市イメージですが、菊川に住むことにしたのは、静岡に住んでいてどこに住もうかと考えたとき、静岡と浜松に勤務するだろうが東部は高い。その間で、アクセスがよくて、地価が安くて通勤しやすく環境がよいところを探したら、菊川の地価が一番安かった。そのような面を強みにしてもいいと思います。

委員：課題5の菊川文化で、ある会合で文化が低いので文化を高めるようにとの意見もあって、

菊川文化を高める方向が出ると思います。事前に貰った資料は、このくらいであれば、読んでみようと思うので、あまり文字が詰まったレイアウトだと読むのにちょっと思うので、出来上がりもイメージして下さい。市民は駅北がどう開発されるか期待、関心もあるので、さきほどの図だと小さすぎるので、もっと大きくとりあげてほしいです。

会 長：静岡市の総合計画はタウン誌のようにデザインして、学生の評判もいいので参考にしてください。

委 員：菊川市の今後10年のまちづくり課題となると、少子高齢化が避けては通れません。自助、公助の課題については、災害対応は市民の関心もあったと思うので、ここについては、行政の対応をどうするか、市民アンケートからどう対応してほしいのか、箇条書きにしてもらえるとわかりやすいです。駅北は旭テックの跡地の検討とありますが、以前、県営住宅の計画がありましたが、その後、住民から見ると塩漬けに見えます。一度は県営住宅に関心があったけど、断念した経緯もあるので、それから20年経つので駅に近い土地が塩漬けのままでもいいのか、と思うので、検討課題にして下さい。

委 員：まちづくり課題について、課題の最後を「必要です」とか「求められている」と終わっていますが、重要度が伝わりません。その辺がちょっと読んだ感じでははっきりしません。32ページで、貰った資料と事前の資料と赤字部分が違うのは、なぜかですか。

事務局：赤字は修正したところですが。全部赤字は、表現を総合計画審議会で検討していくところをそうしています。青書きについては、策定委員会で検討したものを書いています。文章中、黒から赤になっているのは前回から修正したところとなっています。

事務局：最初に配布した資料の将来像は、合併協議会の際の理念でした。今回の資料は第1次総合計画の策定時のものです。文章の変更があったので新しいものにしました。

委 員：資料ですが、どれだけの方が見るのでしょうか。もし、主婦とか大勢の人がみるのなら、イラストを入れるなど、別冊とか要約したものとかあると、見やすくなると思います。

事務局：配布した資料をもとに、イラストなどを入れていきます。これとは別に概要版も作る予定にしています。概要版は全戸配布を考えています。冊子は、500部くらいで、学校など主要なところに配布する予定です。

事務局：戦略でも概要版を作成しており、A3見開きで写真を添えて作っています。これは成人式で配布する予定にしています。総合計画でも戦略と同じような概要版を作っていきます。

会 長：ありがとうございます。議事1については、概ねいいですか。

事務局：先ほど話がありましたが、住宅補助について、以前と違って2世帯住宅は少なくなっています。容積率や建ぺい率の問題からできないといった面もあります。それで、近くに別棟を建てて住む、近居というスタイルが多くなっています。今回の総合計画の定住促進において、住宅補助制度として、他所から来る方を対象に近居推進として3世代に対する補助の仕組みをつくっています。

駅北については、内部で検討委員会を立ち上げ、どのエリアをどうするかを検討しています。そこでゾーニングを考えています。直近の状況として、駅北のマンションは、あと4戸で完売と聞いています。その後、第2期の申請があり、45戸の計画と聞いています。駅南については、遠鉄が建設しその後は様子見の状況です。駅北は、東洋製菓が寮を移してきましたが、その南で、積水ハウスが戸建て住宅を建てており、そこは木を植えたりしてゆとりのある住宅地としています。白地の部分は乱開発に繋がる恐れがあるので、コンセプトなどを内部で詰めているところです。

会 長：結構、売れ行きがいいですね。「ときめき」の「とき」くらいになってきたので、明るい展望を拓いてもらいたいです。

委 員：駅北の電線は地下に埋設する予定はあるのですか。

事務局：駅南は、埋設しましたが、駅北については予定していません。

(2) 第2次菊川市総合計画 政策大綱(案)について

事務局：資料説明。

会 長：今日、渡された資料なので、次回での議論が中心になると思いますが、政策指標のあり方を中心にしたいです。個別の施策の体系について、意見ををお願いします。

委 員：政策の大綱は、全部を網羅する必要がありますが、正直どこの市が作っても同じ内容です。戦略も同じような内容になります。これは当たり前です。その中からピックアップして重点をあげるとは思いますが、その際に、他市との差別化ができる施策を総合計画のなかで出して、表に出せるようにして下さい。ぜひとも戦略を具現化するような差別化する施策を出して欲しいです。

事務局：先ほど委員からあったとおり、実行計画は市長マニフェストに付すなど、書き分けていきます。差別化等ができるものがあれば、そのようなものを出していきたいです。検討します。

会 長：個別の施策をみると、何だろうと思うものもあるので、表現も含めてをお願いします。基本目標1の市民に開かれた教育委員会は、具体的には何を想定していますか。

事務局：別冊の6ページの内容が該当します。施策としては、教育委員会と連携し教育の充実に取り組む、と書いており、市長と教育委員会と連携し教育を進めるもので、教育委員会からの要望で出しています。

事務局：この項目は教育委員会から、本年度から総合教育会議を市長が主宰するようになり、教育部局と市長部局と開かれたものでやっていきたいとの意見があり、載せています。

会 長：それは、市長と教育委員会に加えて市民代表が入るものですか。市長と教育委員会だけですか。

委 員：教育委員会だけでやっていたものに市長部局が入る、というものです。

会 長：川勝知事はいろいろな人を入れていますが、今の話では、市民に開かれたとなっているのとイメージが違いますが。

事務局：今までのものに市長が入るものとなります。

委 員：これがそのまま冊子になると字が小さすぎて見る気がしません。また、政策指標が、全て市民アンケートとなっています。アウトプット、アウトカムと言われており、数値として出せるものと、アンケート結果と使いわけますが、アンケート結果はやりやすい反面、聞き方が難しいものになります。本当に市民の考えを示しているのか、正解ともいえない部分もあるので、アンケート結果と数値として出るものと、1つずつ入れることはできないかと思います。

会 長：指標のあり方の指摘でした。確かに、市民の主観的な判断も重要ですが、商工業とか住民が工業発展などを判断できるかどうかといった問題もあります。この辺の意見をもらいたいです。第1次総合計画はこのような指標だったのですか。

事務局：1次総合計画でも満足度は政策ごとに出しています。今回、新しくした項目も1次から引き継いだ項目もあります。数値目標は実行計画で書く予定をしています。例えば、観光であれば、観光客数などを考えています。

会 長：1次総合計画のみんなで目指す目標値は基本計画にありましたが、今回は実行計画に入れるということですか。

事務局：今の1次総合計画は3層構造で基本構想、基本計画、実施計画となっていました。今回は2層構造となります。従来の基本構想と基本計画をまとめたものと基本計画と実施計画をまとめたものとなります。

会 長：第4章には、アンケートの目標値しか出てこないという理解でいいですか。

事務局：そうです。

副会長：中身について、施策が抽象的です。それぞれの目標について、市民中心としたまちづくりに目線をおいているので、大きなずれはありませんが、中には、人が訪れるまちづくりなど、菊川と合っているのかと思う項目もあります。項目そのものの表現よりも施策をどう実効性のあるものにしていくかが大事です。ちょっとみた中では、概念的なものとなっており、実効性がみえるか疑問です。しっかり詰めないとスローガンを掲げるだけではだめだと思います。

会 長：基本構想の文章は抽象度が高いです。目標値について、アンケート調査だけにしてしまったので、別冊で数値把握となるので心配です。

副会長：アンケートはどのくらいを対象とするのですか。

事務局：市民2000人、18歳以上を検討しています。設問数には、現状のアンケートは50数個となっているが、それより若干少なくなっています。基本目標などが精査されたので減りました。施策ごとに1、2の項目となっており、48項目のアンケートとなります。

副会長：年齢層はいいのですが、10歳ごとに同じ数にするのですか。

事務局：抽出についても、年代、地区によって比率を求めて偏らないようにアンケートをとっていきます。全体的に地区ごとにとっていきます。

会 長：第2編の方は今日初めてみる資料ですので、次回の総合計画審議会にかけて目を通してもらい、次回の会議で意見をききます。

感想としては危惧しています。行政改革として、90年代半ばからアウトプット指標とアウトカム指標を具体的な指標をなるべく入れ、PDCAサイクルでローリングして見直す流れとなっています。実行計画で指標が入ったとしても、目に見えるところが主観指標だけとなると行政のパフォーマンスを図るのが難しいです。もう少し指標を入れた方がいいと思います。指標の選び方が難しく、すべて成果指標は難しいので、アウトプット指標も入れながら、代表的な指標を入れるようにして下さい。近隣の事例も紹介してもらいながら、指標を検討して下さい。文章も防災力のあるまちづくり、消防力のあるまちづくりなど、それがないまちはないので、もう少し迫力ある文章にしてもいいです。表現を冒険してもいいと思います。今日は最初ですので、次回までに目を通して下さい。最後に、何かありますか。

副会長：菊川市の茶業の動向のグラフが無いと言いましたが、以前から近年のデータがないことは聞いていました。菊川が深蒸し茶発祥の地であり、茶業が基幹産業であるなら、独自にデータをとるべきです。27年度からはもう一度調査して、独自でデータを作る必要があると思います。これが菊川にとって茶業がどうなっていくのか道しるべとなると思います。

企画財政部長：年末のなか、熱心な議論をありがとうございます。まだまだ、考え直す課題があると痛感しました。そうは言っても、29年度からの計画であり、29年度事業化していくためには28年度前半に完成させる必要があります。できれば今年度体制で、かなりのところまでは絞っていきたいので、協力をお願いします。総合戦略については、10月に完成しました。毎年行っている市長まちづくり懇談会を11月から12月にかけて開催しました。今年は総合戦略がテーマでした。来年の当初予算の編成中で、総合戦略で位置づけた事業も事業化するようにしています。ただ、新型交付金、加速化交付金は、予算措置はされているものの、菊川としては使い勝手が悪いと感じており心配しています。審議されたものについては、事業化していきたいのでよろしくをお願いします。

4 閉会

以上